

「ニート」何が問題なのか?

(非行との関係から)

龍谷大学矯正保護研究センター

(法科大学院) 浜井浩一

khamai@law.ryukoku.ac.jp

1

少年非行に関する言説

- 非行の低年齢化
- 非行の凶悪化
- 非行の一般化
- 切れやすい若者
- ゲーム脳
- ひきこもり

2

非行とニート問題の共通点

- どちらも、メディアや識者と称する人たちから若者の心の問題として取り扱われている。
- 「不気味に変質する若者、このまま放置すれば、日本はどうかになってしまう。」という文脈で語られる。
- 注: ニート、社会格差等の研究書を読むと、専門分野の統計はきちんと読んでいのに、治安悪化、児童虐待、非行などの深刻化についてはそのまま呑み込んでいる記述が目につくが、治安や犯罪リスクも、リスクそのものではなく、人々のリスク認知が上昇しただけであり、現実のリスクは上昇していない。

3

4000年前から若者は墮落しつ続けていると言われている

- 「最近の若者は、…」とは、エジプト文明の時代から言われ続けている。
- プラトンは「最近の若者は、なんだ。目上の者を尊敬せず、親に反抗。法律は無視。街であばれる。道徳心のかけらもない。このままだと、どうなる」と述べている。

4

人々の犯罪に関する意識

・(犯罪)不安を感じる理由の第一位:テレビや新聞で犯罪報道をよく見る。54.1%
社会安全研究財団の調査による。

・「少年による犯罪は増えたと思いますか?」

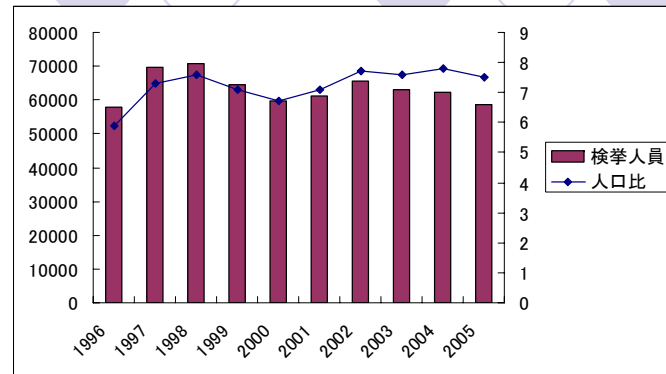
「非常に増えた」と回答した者の比率

- あなたの街では:**13.5%** (治安の場合**11%**)

- 世の中全体では:**62.5%** (治安の場合**61%**)
(少年非行の実態解明に関する調査)

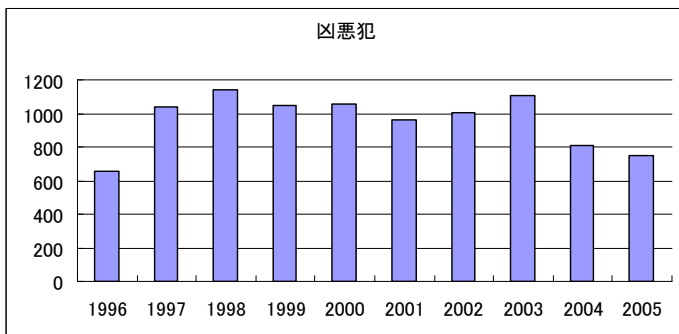
全国無作為しているため、回答者の認識が実態を反映しているのであれば、この二つの回答結果は同じ程度であるはず。

最近の少年刑法犯検挙人員の推移



6

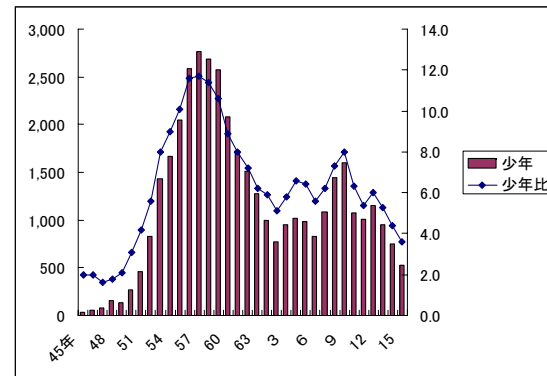
最近の少年凶悪犯検挙人員の推移



ここでの凶悪犯とは、殺人、強盗、強姦、放火をいう。

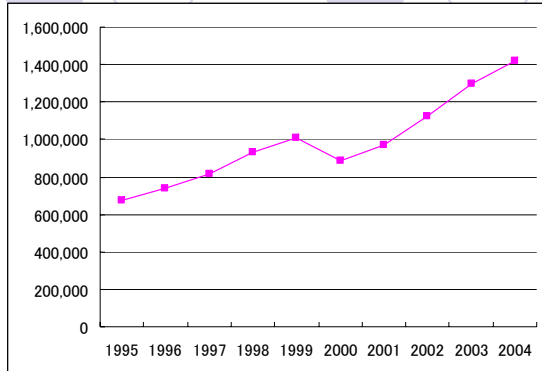
7

少年による覚せい剤事犯



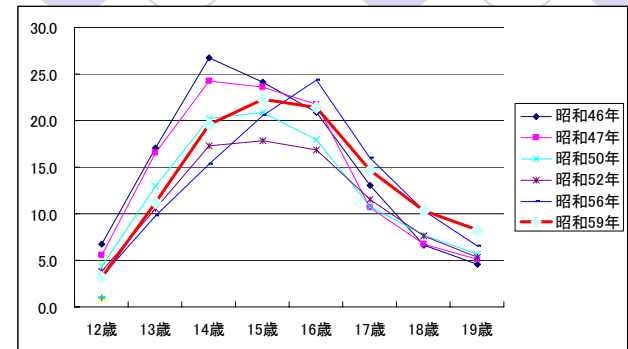
8

不良行為の補導人員の推移



全体として非行が安定傾向にある中、深夜徘徊、喫煙など不良行為少年の補導のみが激増。社会の治安要求に応え、青少年の健全育成を目的とした不良狩りの効果少年に対してタフな警察

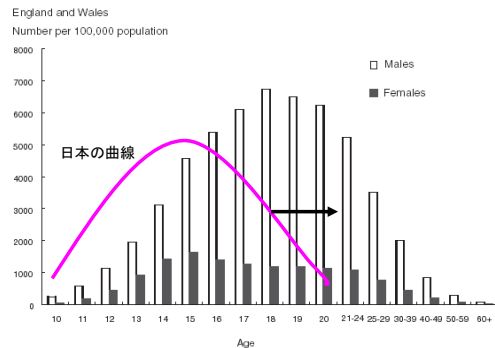
世代別少年非行率の推移



日本には、社会の仕組みとして、非行の収束を助ける枠組みがあったが...

イギリスの非行・犯罪率

Figure 2.3 Persons found guilty of, or cautioned for, indictable offences per 100,000 population by age group 2003



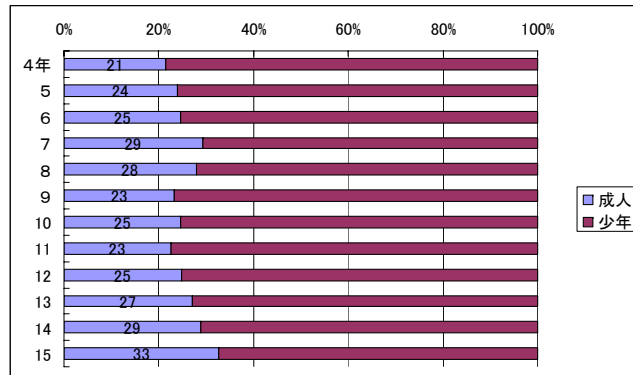
2.12 The peak age of known offending for males fell by one year in 2003 to 18, this having been the peak

中卒、高校中退者などのドロップアウトを含めて、社会の受け皿に拾われて、20歳までに収束するのが日本の非行の特徴だった。

学校、家庭、地域の就職紹介システムの崩壊

- これまで、日本の非行が20歳までに収束してきたのは、ある種の「コネ社会」を通して学校、家庭、地域社会が中卒、高卒、ドロップアウトした若者に就職先を半ば強制的に紹介して、社会の一角に押し込んできた。
- これが、格差社会の進展だけでなく、自由競争、自己責任、透明化によって失われ、多くの脱落した若者が社会に放置されるようになってきた。

暴走族の高齢化



13

非行の高齢化:いつまでも自立できない暴走族

＜大阪＞暴走族OBの罰金検出 強盗を繰り返す

路上強盗などを繰り返していたとして、大阪府河内長野市に住む無職の18歳の暴走族リーダーら少年15人が、強盗致傷などの疑いで逮捕されました。

調べによりますと、少年らは去年11月、河内長野市内で、原付バイクに乗っていた別の少年グループに鉄パイプなどで襲いかかり、7人にけがをさせた上、20万円あまりを奪うなどした疑いが持たれています。調べに対して少年らは、「先輩の暴走族OBが罰金刑になると聞き、資金を調達しようと思った」と話しているということです。(朝日放送) [2004年7月6日19時24分更新]

14

中学生ら

強盗未遂容疑で中学生ら5人逮捕 沼津署 /静岡県

沼津署は17日、沼津市と富士市に住む中学3年生から無職の19歳まで少年5人を強盗未遂の疑いで逮捕、富士市の中学1年の男子生徒を補導した。

調べでは、16日午前2時半ごろ、沼津市内の路上で、帰宅途中の市内の店員男性(38)にナイフを突きつけて「金を出せ」と脅した疑い。男性はすきみて逃げ、けがはなかった。6人は遊び仲間、容疑を認めているという。
(2005.9.18)

15

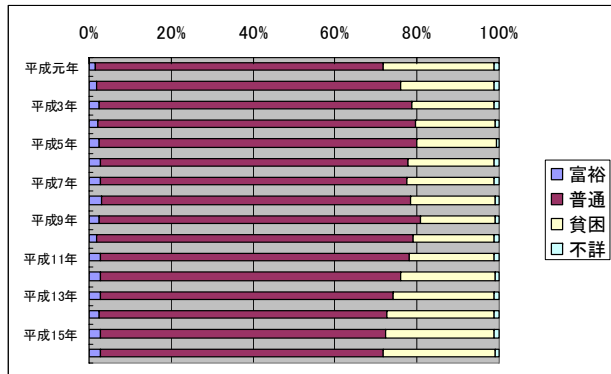
高校生ら

強殺などの罪状、少年3人認める 東金の女子高校殺事件 /千葉県

東金市の旧ホテル敷地内で昨年12月、茂原市内の県立高校定時制2年の女子生徒(当時17)が絞殺された事件で、強盗殺人や死体遺棄などの罪に問われた、元県立高校生ら16~19歳の少年3人=いずれも茂原市内、千葉家裁から逆送致され起訴=に対する初公判が1日、千葉地裁(金谷暁裁判長)であった。3少年はいずれも「間違いありません」と起訴事実を認めた。
(2005.6.2)

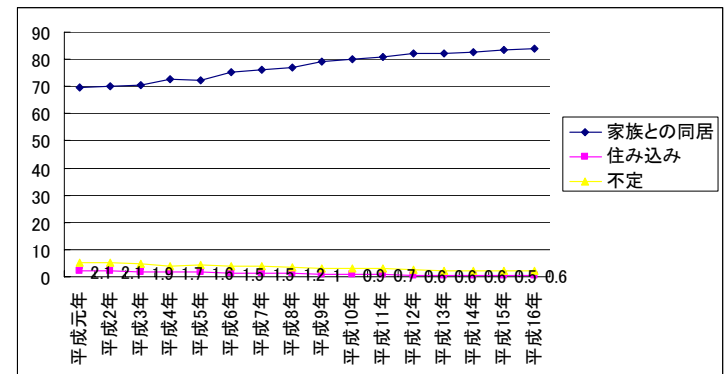
16

少年院在院少年の家庭環境



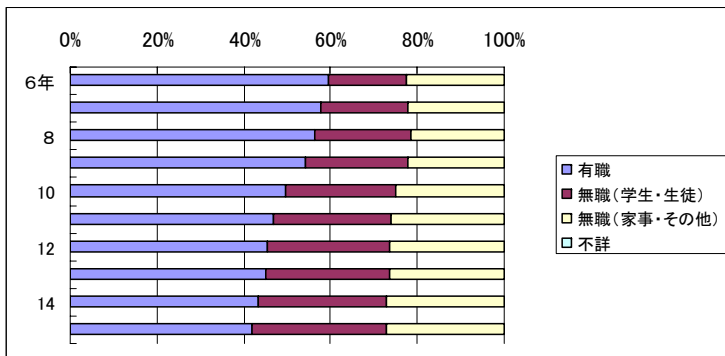
17

家族との同居(少年の自立)



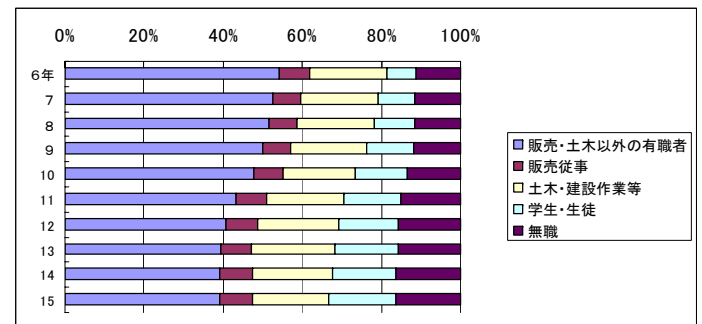
18

保護観察開始時の学職(1号観察)



19

保護観察終了時の学職(1号観察)



20

非行少年の意識の変化

- 少年鑑別少年の意識: 1988年と2004年の調査結果(同一質問票)を比較すると、暴力傾向や反社会的傾向の減衰が認められる。
- その他の調査結果でも、鑑別所の少年は年々おとなしくなっていることが明らかに。

21

非行少年を追い込んでいく社会

- プラトンと同様に、少年のモラルの低下を嘆き、このままでは日本社会がどうかなってしまうという危機感が、非行少年を社会に対する脅威ととらえる。
- セイフティーネットの弱体化---不良狩り・不審者狩り---司法ネットの拡大(ゼロトレランスと厳罰化)
- 格差社会が作り出した負け組みに対する受け皿の消滅---結果として非行から足を洗えない若者の増加

22

一見魅力的な対策

- 米国で復活したスケアード・ストレイト
(刑務所体験プログラム: 非行少年を累犯刑務所に連れて行き、凶悪犯罪者と面会させることで、将来の非行を抑止しようとするもの。)
映像的には、世の中をなめきった態度をとり続けていた不良少年が、受刑者と対面して、ショックを受けて、不安そうに将来を考える姿は印象的。→効果がありそうに見える。

結果: 再犯を促進してしまう。

23

スケアード・ストレイト プログラムのイメージ



なぜ根拠のない力による政策が受けるのか

- 2005年国際犯罪学会で会長のシャーマンは、応報や復讐は、人間の脳の甘さを感じる部分を刺激する。つまり、厳罰化は多くの人々にとって Sweetであるからやめられないと指摘。
- スケアード・ストレイトについては、ある教授が学生に対して、どれほど科学的根拠を説明しても、学生にアンケートをとると「効果はあるはず」と答える者が多いという報告もある。信仰や思い込みに基づく政策を覆すのは容易ではない。

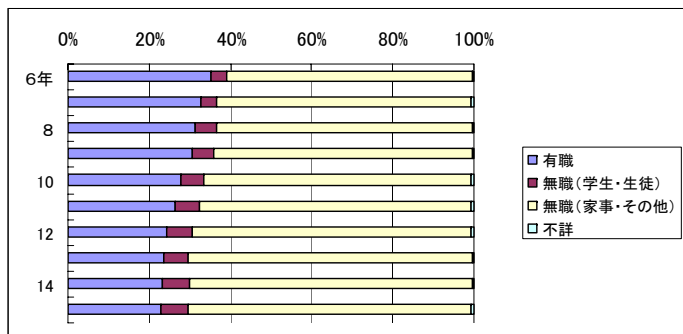
25

少年非行対策としてのニート対策①

- ニートに対するNPO等の合宿訓練と少年院教育の共通点
- 職業訓練と自信をつけさせることで十分か?
- つまり、ニート対策として少年個人に対する対策だけで本当に効果があるのか?

26

少年院仮退院後の学職



少年院教育の基本は、職業訓練を通して技能や自信をつけさせること。

27

少年非行対策としてのニート対策②

- ライフコース論から見た場合、非行・犯罪の収束は家族と就職といった受け皿の影響が大きく、個人を再教育するだけでなく、セイフティーネットの仕組みを考えるべきではないか(ニートの中でも特に負け組み要素の強い非行少年の場合には)。

28